第66号
平成21年12月
発行
(株)コクタ
砕石部

コクタニュース

布石を打つ

サッパ沢地区採掘区域拡大に伴う林地開発計画がこのほど許可となりました。昨年から採掘計画策定に取り掛かり『森林審議会』を経て、1.9ヘクタールの区域拡大が出来ることとなりました。

これから立木の伐採、表土処理、運搬路の拡幅、勾配の緩和、作業ベンチの造成等の安全対策、品質の安定確保とコスト縮減への対応、災害防止、景観、緑化、地球温暖化等の諸課題に真摯に取り組み、皆様からなくてはならないと思っていただける会社を目指して努力してまいります。

アリも歩けば道になる

自動車は便利な乗り物である。車輪を使い、重い物を早く遠くまで移動することが出来る。車輪はこんなに便利なのに車輪を持った生物はいないということを本川達雄という人が書いている。なぜだろう・・・。

そもそも車輪は物理的に直径の1/2より高い段差は越せない。また泥道や砂地では回転抵抗が5倍～15倍になる。さらに急に曲がれない、ジャンプできない、急勾配を上れない・・生き物にとってみるとはなはだ不自由である。

地球上ででこぼこがなく、へこまず、勾配も緩い場所を道路以外に捜すのは難しい。そういう地球で人間は、重い物を早く遠くまで移動させる為に良い道路（広く、まっすぐでかたい道）をせっせと作り続けてきた。おかげで他の生き物では及びもつかないほど生息範囲を広げたのだ。陸上を車輪以外で移動できる乗り物が出来ない限り、良い道路は必要なのだ。

しからばこれからの良い道路とは。

道路本来の機能に『美しさ』『癒し』『賑わい』そんな無形の何かが付加されるものではないだろうか。アリも歩けば道になるのである。しかし人間は意識して道路を進化させていかなければならないんだと思う。

良い道路なら僕でもひける！

師走点描

Part1 『あっ！』というまに

気が付けばもう師走。今年も楽しいこと、悲しいこと色々ありました。

2月	畠山茂美さん逝去
	松森さん逝去（福田運送）
3月	いつつ星会5周年
	WA380納車
4月	長井聡さん結婚
5月	山口隆さん入社
6月	裂傷事故発生
9月	採取認可取得
	荒谷善正さん退職
10月	岩手県発破技術研修会開催
	技術奨励賞受賞
11月	林地開発許可取得

振り返るとあっというま。来年こそは健康で事故のない1年にしたいものです。

Part2 冬支度

砕砂プラントの冬季期間閉鎖に向けて製品ストックが進んでいます。12月中旬から3月下旬まで稼動を休止する予定です。

Part3 あたたかくなるはなし

い）寒い冬はあったかい鍋にあつかん。とおもいきや先日二戸の駅前の某所で、ホルモン焼きで一杯やった。目にしみる程の煙がモンモンする中で食するホルモンは国民の味がした。

ろ）二戸文化会館の玄関に特大のクリスマスツリーが飾ってある。見ているとちょっとほんわかしてくる。ふところもあったかくなればなぁ・・

??1122??

11月22日は『いい夫婦の日』なそうな。いい夫婦とはなんぞや？が、イマイチはっきりしないが、相性が良ければ長持ちするのだろう。

『金婚式』や『ダイヤモンド婚式』を迎えられる夫婦は少ないかもしれないが、コンクリートの世界では長期(100年)、超長期(200年)という耐用年数が設定されだしている。丈夫で長持ちするコンクリートを作るひとつの要件として、材料の相性があげられ、相性の良し悪しが顕在化した例として『アルカリ骨材反応』や『乾燥収縮』の問題がある。

石もセメントも水も、それ自体が存在しているときは、膨張も収縮もしないのだが、水を介して石とセメントが出会うと、稀に膨らんだり縮んだりするのだ。水は論外であるが、石が悪かろう、いやいやセメントにも非はあるべとの議論である。

しかし、所詮夫婦喧嘩である。ここらで骨材とセメントが手をたずさえて末永く幸せに暮らすことを考えなくては。

総理大臣が『コンクリートから人へ』と言っている時なのだから・・。

Part4 年末年始安全に！

師走に入り災害防止パトロールが各団体盛んである。砕石業界は12月3日実施する。何かと気ぜわしいが、身の回りをきれいにして新年を迎えましょう。

Part5 年末年始休暇

平成21年12月30日（水）～
平成22年1月5日（火）

誠に勝手ながら年末年始休暇とさせて頂きます。

来年も頑張ります！ご愛顧ください！良いお年を～！